

第2次能代市総合計画の策定に関する提言（前文案）

能代市総合計画市民協働会議は、平成30年度からの新たなまちづくりの指針となる第2次能代市総合計画を市と市民の協働により策定し、その推進を図るため、1次素案をもとに、計画の基本部分の確認、目標指標と望ましい取組や連携についての検討を7回にわたり行いました。

1次素案は、市の現状や市民の意見を反映しながら、人口減少と少子化・高齢化が進む中でも持続できるまちづくりを志向して作成されており、概ね良くまとめられておりますが、これからのまちづくりを進める上で、次のような視点が重要であるとの意見が出されました。

- ① 世代等を超えて、様々な人が活躍できるような、雇用や子育てを含めたはじめとした環境づくりが求められる。
- ② 身近な課題に対応するためのネットワークの形成や、地域・企業・学校等相互の良さを引き出すような連携が必要である。
- ③ 地域資源の掘り起こしや有効活用を図りながら、ときには特化した取組も必要である。

以上を踏まえ、第2次能代市総合計画の策定にあたり、計画に反映していただきたい事項を「提言事項」、計画の策定や実行段階で参考にしていただきたい事項を「参考事項」として、次のように取りまとめましたので、提言いたします。

平成29年10月11日

能代市長 齊藤 滋 宣 様

能代市総合計画市民協働会議
委員長 山内 繁